



2026.2.1
あおぞら保育園

1年で最も寒さが厳しい季節となりました。乾燥した空気は、風邪やインフルエンザなどのウイルスの好物です。手洗い・うがいの徹底はもちろん、「早寝・早起き・朝ごはん」で免疫力を高めていきましょう。子どもたちの元気な笑顔を守るために、園でも引き続き健康観察を丁寧に行ってまいります。

・・・1月の感染症・・・
インフルエンザB型・・・1名
感染性胃腸炎・・・8名
溶連菌・・・1名



・・・2月の保健行事・・・
2日～6日 身体測定週
16日(月) 0歳児健診
19日(木) 歯磨き指導 ことり
24日(火) “ つぎ
27日(金) “ はな

【現在、流行中の感染症と園での対応について】

■ 感染性胃腸炎（0・1歳児クラス中心）

現在、0・1歳児クラスを中心に発症が見られます。集団生活では子ども同士の距離が近く、飛沫や接触によってあっという間に感染が広がってしまいます。園では感染拡大を防ぐため、以下の対応を徹底しています。ご理解とご協力をお願いいたします。

- 嘔吐時の対応：すぐに子どもたちを別室へ避難させ、換気と消毒（次亜塩素）を行います。給食中に発生した場合は、飛沫が飛んでいる可能性があるため、配膳済みの食事は破棄し、新しいものに交換しています。
- 汚れた衣類の返却について：嘔吐物や便が付着した衣類は、園で水洗いをするとうウイルスが飛び散り、二次感染の原因となります。そのため、洗わずにそのままビニール袋に入れて密閉し、お返しさせていただきます。お手数ですが、ご家庭での洗浄・消毒をお願いいたします。

■ インフルエンザB型

B型の発症が始めました。今回の特徴として、「37.5℃程度の微熱」でも検査で陽性となるケースが見受けられます。羽村市内の小中学校でも学級閉鎖が相次いでおり、感染力が高まっています。ご家族内での感染も広がりやすいため、もしご家族が罹患された場合も、登園時に必ずお知らせください。

親子でスキンシップ



ご家庭でお子さんとどのようなスキンシップをとっていますか？「大好き」と言葉にするのは照れくさい時もありますよね。そんな時は、抱きしめたり背中をさすったりするスキンシップがおすすめです。実は、肌が触れ合う時に生まれる「低い周波数の振動」は、脳に直接安心感を伝えます。「なでる」行為には、クラシック音楽やろうそくの灯りのような高いリラククス効果があり、子どもの心を満たすだけでなく、親自身の心も穏やかにしてくれます。今回は、忙しい時でも楽しめる簡単な指遊びをご紹介します。

おとな 子ども



人差し指同士をくっつけて、動かします。

～ゆびの散歩～

遊び方

- ①大人と子どもの人差し指をぴったりと合わせます。
 - ②大人がリードしながら指が離れないようにゆっくり動かしていきます。「ママの指が離れないようにくっついてきてね～」など声をかけながら。
 - ③子どもの人差し指は大人の指から離れないように頑張ってください！！
- *相手の気持ちに合わせることや力の加減を身に付けることができます。目を閉じてチャレンジしても面白いですね。幼児は、リードする役を交替してもOK。



歯磨き指導



ことり・はな・つき組を対象に歯磨き指導を行います。丈夫な歯と正しい噛み合わせは、おいしく食べるだけでなく、「はっきりと言葉を話す」「転んだ時にグッと食いしばって体のバランスを守る（大怪我を防ぐ）」など、全身の運動機能や脳の発達とも深くつながっています。幼児期からの丁寧なケアは、将来のきれいな歯並びや顎の健やかな成長、そして子どもたちが安全に運動できる体を作るための「一生モノの土台」となります。

★ことり組 2/19(木)

持ち物： 特にありません（園で用意したものを使用します）

内 容： ことり組さんにとって、初めての歯磨き指導です！「どんな食べ物が虫歯になりやすいの？」「強い歯を作るにはどうしたらいい？」といったお話を、紙芝居や絵カードを使ってクイズ形式で楽しく学びます。また、これから毎日行う歯磨きが上手になるように、歯ブラシの持ち方や動かし方の練習も行います。ご家庭でも話題にしてみてくださいね。

★つき組：2/24(火) ★はな組：2/27(金)

持ち物： フェイスタオル 1枚

※染め出し液を使用します。衣類につくと落ちにくいいため、当日は「汚れてもよい服装」での登園にご協力ください。

内 容： 紙芝居やクイズで歯の大切さを学んだあと、いよいよ実践です！今回は「染め出し（磨き残しチェック）」を行います。歯の汚れが赤く染まるお薬を使い、普段の歯磨きで「どこが磨けていないか」を鏡でじっくり確認します。そのあと、赤くなった部分を狙って正しい歯ブラシの動かし方を練習し、自分の力でピカピカになるまで磨き上げる体験をします。

敏感な子どもたちのために

～ お洗濯の「香り」とアレルギー・喘息 ～

保育園は多くの子どもたちが密集して過ごす「集団生活の場」です。子どもたちが毎日吸い込む空気をきれいな状態に保つため、衣服の「香り（化学物質）」について、今一度ご家庭での確認をお願いいたします。

■香りの正体は「化学物質」です 柔軟剤などの人工的な香りは揮発した化学成分です。最近の製品に含まれる「マイクロカプセル」は、空気中に弾けて成分を拡散させ、空気を汚染する原因となります。

■子どもの体はとてもデリケートです 子どもは体重あたりの呼吸数が大人より多く、代謝機能（毒素を排除する力）も未熟です。そのため、化学物質の影響を受けやすく、以下のような不調につながるリスクがあります。

- ・体調不良：頭痛・めまい・吐き気・言葉にできない不機嫌の原因
- ・喘息・アレルギーへの刺激：空気中の化学成分が気管支を刺激し、咳込みや喘息発作の引き金になることがあります。また、衣類の残留成分が汗と混ざり、肌荒れやアトピー性皮膚炎を悪化させるケースもあります。

【お願い】

お洗濯の際、ほんの少しの工夫で子どもたちの「空気」と「健康」を守ることができます。園で着る衣類については、以下のようなご協力・ご配慮をお願いします。

- ・使用量を「少な目」に：香りに慣れると量が増えがちです。
- ・「すすぎ」をしっかりと：成分が衣類に残りすぎないように、すすぎの回数を確認してみてください。
- ・お休みの日と使い分ける：「園に行く日は控えめに、お休みの日はお気に入りの香りを楽しむ」というのも素敵な選択です。

